

2023 年度

活動報告及び決算報告書



一般社団法人 JLMM

2023 年度 JLMM 活動報告

1. 2023 年度の動きと成果（概要）

概況

新型コロナウイルスの感染状況が緩和されてきたことに伴い、昨年度までオンラインを中心に研修を受けてきた研修生3名が、4月から共同生活による研修を再開させ、8月にカンボジアとフィリピンへ派遣された。

国際協力イベントやバザーへの実会場における参加や、学校企画としてのカンボジアスタディツアーを実施した。

派遣地における活動

カンボジア・プノンペン市においては2020年4月以来、日本からの派遣者不在の状態で、プログラム・コーディネーターのソピア氏を中心とした3名のコアスタッフが活動を継続している。またコロナが終息傾向に向かい、活動がコロナ禍以前に戻ったことで3名のアシスタントスタッフを再雇用した

「子どもの家」の活動など、ほぼコロナ禍以前同様の活動を実施した。

今年度の派遣再開において、現地におけるすべての活動を現地スタッフで運営できる体制を構築しているため、プノンペン市での活動への派遣を行わなかった。

カンボジア・バッタンバン市においては、8月より6か月間の語学研修を終えた新派遣者楯知子が2024年2月からバッタンバン教区が運営する保健活動への参画を開始した。

カンボジア・シェムリアップ市においては、8月より6か月間の語学研修を終えた新派遣者中島愛が2024年2月からショファイユの幼きイエズス修道会が運営するプレスクールでの幼児教育活動やシェムリアップ教会の活動などへの参画を開始した。

フィリピン・ミンダナオ島キダパワン市においては、8月より児童養護施設「イースタービレッジ」にて語学研修を終えた新派遣者東さよみが2024年2月より同施設の保健教育などの活動を開始した。

派遣候補者募集と研修、派遣

7月に共同生活における研修を終了し、3名の研修生が8月にカンボジアとフィリピンへ派遣された。

2024年4月以降の研修所が確保できなかつたため、2024年度の派遣候補者募集は行わなかつた。

スタディツアー

学校企画に限り実地のスタディツアーを開催した。7月に上智福岡高等学校、12月に広島学院高等学校、

2024年3月に横浜雙葉高等学校の計3校のカンボジアスタディツアーセミナーを実施した。

また、2024年2月にサレジオ学院高等学校1年を対象としたカンボジア・バーチャルスタディツアーセミナーを実施した。

イベント・活動紹介・物販（地域と教会に向けた広報の拡充）

JLMM の現在の活動国や過去に派遣した国、また地域でつながりのある各国の人々との、食を通じた地域における国際交流のため、事務所のある神奈川県鎌倉市内の飲食店「ソンベカフェ」と連携したイベントを開催した。6月に「カンボジア・ナイト！」、10月に「まるごとフィリピンないと！」、2024年2月に「ベトナム・ナイト！」を開催した。

ラチャナ・ハンディクラフト、コーヒードリップパック、胡椒については地域のイベント、教会のバザー、各地での派遣式や報告会などにあわせて販売した。教会や学校での委託販売やオンラインによる販売も行った。

3名の派遣者の出身教会を中心に派遣の挨拶と活動報告を実施した。

連携事業

AFMET、カリタス南相馬、ERST、カリタス東京との連携事業を継続した。

カトリック中央協議会復興支援室「緊急対応支援チーム ERST」の事務局として、災害時における緊急対応のシステムづくりや各教区での災害対応ワークショップを実施するほか、7月・8月には秋田大雨被災地支援や2024年1月以降能登半島地震被災地支援に関わった。能登半島地震被災地では「カリタスのとサポートセンター」の設置や運営に協力した。

各国派遣状況及び会員数は以下のとおりである。

2024年3月31日現在の派遣国と派遣者

カンボジア…2名

フィリピン…1名

計 3ヶ国 3名

2024年3月31日現在の正会員数 10名（名簿は後述）

2024年3月31日現在の賛助会員数 2,240（個人・団体）

内訳

個人… 1,042、教会… 350、修道会… 538、学校… 186、その他… 124

成果

- ・2020年3月以降コロナ禍で断念していたレイミッショナリーの派遣を再開し、同時にフィリピンへの派遣を再開することができた。
- ・地域イベントの開催や参加において、新たな支援者・協力者を獲得することができた。
- ・派遣者不在のカンボジア・プノンペン市の活動においては、現地スタッフによる活動の運営が促進された。
- ・秋田大雨被災地支援や「カリタスのとサポートセンター」の設立準備に貢献できた。

課題

- ・学校企画のツアーが数多く企画されており、またコロナ対応への不安と円安傾向が続いている影響もあり、一般募集のスタディツアーガ企画できなかった。
- ・海外への渡航費、宿泊費などの上昇と円安の影響で、海外事業やスタディツアーやの実施、輸入事業が以前に比べて経済的に難しくなっている。

2. 各国活動

(1) カンボジア

I プノンペン市ステンミエンチャイ地区ゴミ集積場周辺に暮らす家族のための生活向上支援

カンボジアにおけるコロナ感染症の拡大により、2020年3月31日に浅野美幸、4月5日に洞江有実子が緊急帰国し、日本からの派遣者は不在の状態が続いているが、現地スタッフ3名（ソピア、サヴェット、マーリン）が現地の活動の運営を担当し、3名のアシスタントスタッフとともに活動を継続している。

2023年度は、次のとおり事業を実施した。事業実施に関する活動資金の一部は、大阪大司教区「カンボジアの日」、海外邦人宣教者活動援助後援会（JOMAS）などからの支援を受けた。

1.概要

コロナ禍で断続的に閉鎖されていた学校など教育機関の活動が2021年11月から再開されて以来、2023年度には「子どもの家」の活動はじめほとんどの活動がコロナ禍以前の状態に戻っている。

しかしコロナ禍の影響を受け、JLMMの活動地のステンミエンチャイ地区、特に有価物収拾により現金収入を得ている住民の多いルッセイ村では、収入が減り支出が増加することで生活困窮の度合いを増している。そのため、コロナ禍に実施していた食糧支援活動は規模を縮小させて継続した。

2. 活動

月曜日から金曜日の午前7時から11時まで、および午後2時から5時まで次の活動を行った。

スタッフは、母親センターの清掃・メンテナンス、教材開発、母親セミナーの準備、図書室整備、教室の整備、ゲームの準備、ドリップパックコーヒー生産・発送、ハッピーアイス業務、食料パックの準備と配布、銀行手続きや会計業務などを行った。

A. 子どもの家 (Home of Children Program)

年齢層にあわせた3クラスの活動を週5日間、コロナ前と同様に実施した。

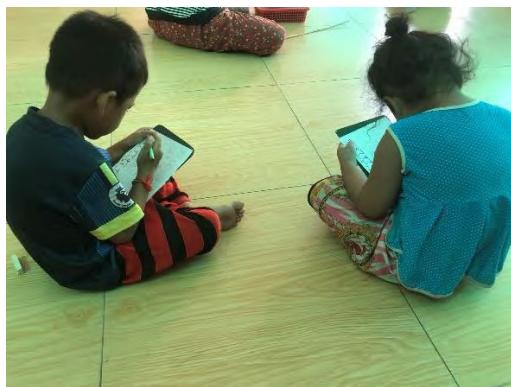
歌、衛生教育、本の読み聞かせ、クメール語学習、塗り絵、絵画、ゲーム、パズル、絵本などの活動を実施し、約 120 名の子どもたちが活動に参加した。参加する子どもの数は昨年度と比べて増加している。

月曜から金曜まで、8時30分から11時まで実施し、給食を提供した。

ゴール	すべての子どもたちが公立小学校で学ぶことができる				
目的	<ul style="list-style-type: none">子どもたちが活動を通して創造力を身につける子どもたちがクメール文字の読み書きを習得する子どもたちがより多くのクメール語の単語を学ぶ子どもたちが病気について知り、予防することができる子どもたちが手洗いを習慣とすることができます子どもたちが規則を守ることができます子どもたちが「誠実」「尊敬」「正直」の良い性格を身につける子どもたちが大きな家族の兄弟姉妹として、お互いに愛し合うことができる				
対象	<ul style="list-style-type: none">「小さな小さな子どもの家」3歳～5歳、17名「小さな子どもの家」4歳～7歳、34名「大きな子どもの家」7歳～13歳、33名				
活動時間	8時30分～11時				
活動場所	プノンペン市ステンミエンチャイ地区ルッセイ村				
月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
歌	歌	歌	歌	歌	
クメール文字学習	クメール文字学習	クメール文字学習	クメール文字学習	クメール文字学習	
健康	道徳	健康	道徳	健康	
工作	数字学習	絵画	運動／音楽	数字学習	
自由遊び	塗り絵	自由遊び	塗り絵	ゲーム	
絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ	
給食	給食	給食	給食	給食	

2023年度中、平均参加者数は2023年(4月～12月)には84名(昨年度59名)、2024年(1月～3月)には93名(昨年度83名)と増加した。

図書館は月曜から金曜までの午前7時30分から10時30分まで開室した。



クメール文字を学習する子どもたち



毎日の給食活動

B. 託児所 (Day Care Center)

3歳から5歳までの幼児35名を、6時30分から18時まで預かった。

ゴール	子どもたちが楽しく託児所に通うことができる				
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの健康な体と心が育まれる ・子どもたちが活動を通して創造力を身につける ・子どもたちが手洗いを習慣とすることができます ・子どもたちがクラスで友だちをつくることができる ・子どもたちが保護者、年上の人、教師に対して挨拶ができる 				
対象	3歳～5歳、男子17名／女子18名 計35名				
活動時間	6時30分～18時30分				
活動場所	プノンペン市ステンミエンチャイ地区ルッセイ村「小さい子どもの家」				
月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
歌	歌	歌	歌	歌	
道徳	衛生	道徳	衛生	道徳	
塗り絵	お絵描き	塗り絵	お絵描き	塗り絵	
自由遊び	自由遊び	自由遊び	自由遊び	運動	
絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ	
給食	給食	給食	給食	給食	
昼寝	昼寝	昼寝	昼寝	昼寝	
歌	歌	歌	歌	歌	
お絵かき	数字	色	お絵かき	運動	
自由遊び	自由遊び	自由遊び	自由遊び	自由遊び	
おやつ	おやつ	おやつ	おやつ	おやつ	

絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ	絵本読み聞かせ
DVD鑑賞	DVD鑑賞	DVD鑑賞	DVD鑑賞	DVD鑑賞

*「自由遊び」はパズル、人形遊び、おもちゃ遊びの中から子どもが自由に選ぶ

C. 健康ケア支援 (Basic Health Care Service)

「子どもの家」に参加する子どもたちやルッセイ村の住民に対して、健康ケアの支援を実施した。

けが、切り傷、かゆみ、シラミ、眼の病気に対して医薬品を提供して対処した。同時に治療方法や予防法についての指導も行った。状況に応じて、経済的困窮者に対して無料診療を行う NGO や地元の病院とつなぎ、対応した。また緊急時には医療施設への交通費支援やコメの配給支援も行った。

D. 収入創出プログラム (Income Generation Program)

ゴミ収拾に代わる安定的で衛生的な収入源確保のため、収入創出プログラムを実施した。ステンミエンチャイ地区周辺やプノンペン市にて、屋台貸し出しプロジェクトとしてロッティ(クレープ)およびハッピーアイスを販売した。主に公立小学校や民間の学校の前や、村の中での販売を行っている。

地域の母親たちの収入創出のため、コーヒードリップパック生産を行った。プノンペン市内のイオンモール、シェムリアップの店舗、日本での販売のために生産と発送を行った。ゴミ収拾に代わる仕事として、また子どもの就学を支える手段として実施した。今後も生活困窮にある女性、特に寡婦を対象とした生産者の拡大を目指したい。

D-1) 屋台貸し出しプロジェクト

ロッティ(クレープ)販売はシーウォンさん、ハッピーアイス販売者はソピアップ、サンポウ、スレイモムさんの3名が参加した。

D-2) ドリップパックコーヒー生産

日本 JLMM 事務局、イオン・プノンペン支店、シェムリアップの土産物店舗での販売用に、10,691個(昨年度6,654個)のドリップパックコーヒーを生産・送付した。



屋台貸し出しプロジェクトを日本の高校生が訪問

4) 緊急食糧支援 (Emergency Food Support)

3年間にわたるコロナ感染症の拡大は、カンボジアの経済危機をもたらし、特にステンミエンチャイ地区に暮らす貧困家庭の生活に大きな打撃をもたらした。プロジェクト地のルッセイ村では住民のほとんどがゴミ收拾、建設現場や工場のワーカー、オートバイタクシーの運転手などであり、収入が十分に得られない状況にある。生活困窮の10家族を対象に、コメ10Kg、魚醤1本、インスタントヌードル5袋、調味料2袋をパックにして毎月配布した。



生活困窮世帯に食糧支援を継続



生活困窮世帯が住むルッセイ村

5) その他

- ・報告関係…CDC(カンボジア開発評議会)、カンボジア政府教育・青年・スポーツ省、プノンペン市ミエンチャイ区への3ヶ月毎の報告書、JLMM 東京事務局への2週間毎の報告書、月間会計報告、会議報告書、カンボジア政府との活動合意書(MOU)更新、財務省への決算報告、カンボジア外務省への年間事業報告書などの作成・提出。

- ・シェムリアップの修道会支援…IDカード、NGOビザ更新手続き

II. バッタンバン州における保健の質の向上および地域住民の生活向上

2024年2月8日、楯知子をバッタンバン市内のバッタンバン教区が運営する保健教育プログラムに派遣した。楯は主にヘルスセンターと村での診療活動に従事した。



診療活動



学校を借りて診療

ヘルスセンターでは月曜から金曜までの8時から12時および14時から17時に診療を行っている。カンボジア人のチャムロム医師が常駐し、看護師として Sr.シナと楯が勤務した。1日に10名から30名ほどの診療を行ったが、糖尿病と高血圧の患者が多くいた。糖尿病予防教室のための教材をパワーポイントで作成した。

2月と3月はスペインからそれぞれ6名の医師のチームがヘルスセンターと村での診療を行い、楯も村での診療に7回同行した。村では一度の訪問に際し50名から130名ほどの住民が診療を受けた。また、5月には歯科医師チーム10名が8日間、ヘルスセンターと村での診療に参画した。



村での診療は学校の教室を活用



スタッフおよび海外からの医師チーム

III. シエムリアップ州における幼児教育の質の向上および地域住民の生活向上

2024年2月9日、中島愛をシエムリアップ市のショファイユの幼きイエズス修道会が運営するプレスクール

およびシェムリアップ教会コミュニティに派遣した。

1) プレスクール (ショファイユの幼きイエズス修道会運営)

プレスクールには4歳児、5歳児クラス計約50名が通園しており、園児は「生きる力の基礎」を育んでいる。園児にとって生活や学び、人格形成の基礎を培う重要な役割を果たしている。中島はアシスタントとしてプレスクールの活動に参画した。

プレスクール 1 日の流れ

7時30分～8時15分 登園:道具遊び、野菜に水やり

8時15分 全体朝礼:国歌斉唱・国旗掲揚

8時25分 足洗い

8時35分～9時 クラスでの朝礼:沈黙、朝の挨拶、歌、出欠確認

9時～10時15分 お仕事:園児それぞれの「お仕事」に取り組む。ボール遊び、踊り、プールなど。園児の健康状態や衛生状態(シラミの有無)の確認。園児の洗濯、衣類をたたむ作業の見守り。

10時15分～10時45分 食事:園児による当番制で配膳。園児それぞれの食事摂取量の確認。先生による身体測定の結果と食事量の確認。

10時45分～11時 終礼:片付け、終礼。

今年度は5歳児クラスが授業にカンボジア伝統舞踊のクメールダンスを取り入れ、発表会で披露した。



朝礼



クメールダンス発表会

シェムリアップ教会の活動

シェムリアップ教会はシェムリアップ市内および4箇所のコミュニティと農園で活動を展開しており、今後の JLMM との連携構築のため中島が活動に参画し、協力した。

シェムリアップ教会では市内をはじめ、タオム (Taom)、ピアクスナエン (Piak Snaeng)、プレイクトアル (Prek Toal)、コンポンクレアン (Kompong Khleang) の各コミュニティにおいて、子どもたちを対象とした給食活動（お粥）、幼稚園、保健教育、伝統舞踊教室、母親と青年に向けた識字教室、青少年

活動、ハンディクラフトなどの活動を実施している。

2)家庭訪問・食料配布（シェムリアップ教会の活動）

月に一回、村を回り、病人や高齢者・乳児の家庭訪問を行った。その際に、体調、経済状態、食の状態などの把握も行った。必要に応じて、米や乾麺、油、ミルク、調味料を配布した。



村回り活動

3)給食活動・医療配布（シェムリアップ教会の活動）

生活困窮家庭の子どもたちを対象に毎週日曜日にボボー（野菜や肉、卵が入ったお粥）を配布した。ボボーは柔らかく、歯がない子どもも食べやすく、野菜・肉・卵・米と栄養バランスも良く摂取できる。お母さんたちや村の住民がボボー作りを行った。また、寄付された衣類を村の子どもたちに配布した。



お粥の給食活動



衣類の配布

4)保健指導

村の子どもたちに歯ブラシを配布し、歯磨きの指導を行った。歯ブラシの持ち方を知らない子どもが多いため、イラストを活用し、実際にイメージしやすいように指導した。指導時は、子どもの家族も参加してもらい、家族単位で歯ブラシの大切さを伝えた。

指導後、子どもたちは自ら歯ブラシを持ち、指導した方法で口腔内ブラッシングができるようになった。今後も衛生的な使用法について伝えていく必要がある。

その他の活動への協力

5)音楽指導

カンボジアの授業は国語(クメール語)、算数、歴史、理科が中心となっており、音楽や美術、体育の科目はほとんど行われていない。カンボジアの内戦で多くの知識人が犠牲になったことが影響している。

そこで地域の学校からの要請に応え、幼稚園・小学校の教員を対象にピアニカの指導を行った。7人が学び、カンボジアの国歌や学校で頻繁に歌われる楽曲を練習した。先生が弾けるようになり、生徒たちに指導できるようになることが将来的な目標である。



歯磨き指導



ピアニカ指導

(2) フィリピン キダパワン州児童養護施設「イースタービレッジ」における保健・教育支援



イースタービレッジ外観

9月1日、東さよみをフィリピン・ミンダナオ島キダパワン州キダパワン市に派遣し、東は現地にて6か月間のセブアノ語の語学研修後、主に保健活動の活動を開始した。

児童養護施設イースタービレッジでは、保護者が子どもを経済的に養育できない、受刑中であるなど様々な理由で、8歳から20歳までの20名程が共同生活を送っている。日常的には敷地外の寮で暮らす大学生も週末は施設で過ごしたり、大学に通う奨学生や施設から自立した人々も活動に関わることがあり、総勢50名程のコミュニティとなっている。

東は敷地内にある高校生の自立支援のための女子寮で共同生活を送った。

8月に本施設の活動を管轄する社会福祉開発省から施設内に診療所(学校保健室のような機能)の設置を要請されたことを受け、空き部屋を活用して保健室を開設し、東が活動を担当した。けがの際に手当したり、家族から受けた暴力について話を聞くというケースがあった。



イースタービレッジに暮らす子どもたちと



近隣の教会で聖歌隊を担当する施設の子どもたち

3. 調査・調整活動

- ・カンボジア調整①…カンボジアへの新派遣者2名の現地生活の開始に伴い、現地での生活や語学学習環境整備のための支援を行った。2名が起居するプノンペン市内聖ヨゼフ教会宿泊棟における入居の手続き、クメール語学習のための語学学校入学手続き、現地スタッフとの打ち合わせなどを行った。(8月9日から8月13日)
- ・カンボジア調整②…6か月間の語学学習終了に伴い、2名の派遣者の赴任地への移動と着任の手続きを現地で支援した。2月8日に聖ヨゼフ教会宿泊棟から退去し、同日楯知子がバッタンバン市のバッタンバン教区敷地内のボランティア宿舎に、翌2月9日には中島愛がシェムリアップ教会敷地内のスタッフ宿舎にそれぞれ入居した。それぞれの派遣地で受け入れ団体との打ち合わせを行った。
- ・フィリピン派遣打合せ…4月にイースタービレッジのソーシャルワーカーのチェチェ氏が JLMM 事務所を訪れ、派遣予定者の東と顔合わせをし、派遣準備のための打ち合わせを行った。
- ・カンボジア・シェムリアップ派遣予定の中島愛の現地受け入れの打ち合わせのため、ショファイユの幼きイエズス修道会本部にて管区長と打合せを行った。

4. 研修

コロナ対応の特別措置として昨年度まで実施してきたオンライン研修およびフォローアップ研修を経て、今年度は共同生活による研修を3か月間実施し、3名が参加した。

コロナ禍より、研修スタッフのシスターが不在となっていたが、研修実施にあたり、聖心侍女修道会より Sr.

大河内妙氏が新たに研修スタッフとして加わった。

4月5日から7日まで神奈川県逗子市の民家を借りて研修所を設営、4月10日に入寮、4月11日に研修を開始した。

英語や聖書学、対話法などの座学に加え、実地での研修として、4月27日に荒川・山谷地区、5月11日諸宗教研修(イスラム教・大塚モスク)、6月8日川崎(ふれあい館など)、6月10日ハンセン病(多磨全生園)、6月22日諸宗教研修(仏教・鎌倉安国論寺、禅居院)を実施した。

識別のための默想を5月26日から28日まで、聖母訪問会モンタナ修道院にて実施した。

最終默想は7月7日から9日まで、聖心侍女修道会雪ノ下修道院にて実施した。



諸宗教研修で大塚モスクを訪問



安国論寺で住職の体験を聴く

5. 派遣

7月15日カトリック雪ノ下教会(神奈川・鎌倉)大聖堂にて、マリオ山ノ内倫昭顧問司教主司式による派遣式を行い、楯知子、中島愛、東さよみの3名が派遣された。



派遣式



派遣式の祝賀会

派遣者の出身教会での派遣式を行った。

- ・上野教会(橋) 7月16日
- ・久留米教会(中島) 7月30日
- ・首里教会(東)8月27日

派遣前の挨拶として、派遣者の所属教区長を訪問し、支援を願った。

- ・東京教区 菊地功大司教訪問 6月26日
- ・横浜教区 梅村昌弘司教訪問 7月5日
- ・福岡教区 ヨゼフ・アベイヤ司教 7月29日
- ・那覇教区 ウェイン・フランシス・バート司教 8月26日

6. 派遣候補者の募集と選考

2024年度研修のための研修所が確保できなかったため、2024年度の新規派遣候補者募集と選考は実施しなかった。

7. 団体連携・協力

(1) 特定非営利活動法人 AFMET

特定非営利活動法人 AFMET の運営に、協力した。

AFMET 理事会 2023年4月17日、5月22日、6月19日、7月24日、9月11日、10月30日、11月20

日、12月14日、2024年2月2日

AFMET 総会 2024年3月10日

11月12日にAFMET主催イベント「東ティモールの魅力 みんなで発見しよう！」を開催した。東ティモール留学生や修道女のトークや料理、ダンスなどを通して、東ティモールのことについて多くの方に理解してもらう機会となった。

今年度の東ティモールフェスタの開催は休止となったが、フェスタのWEBは残され、WEB運営・メンテナンス面で協力した。

(2) ERST(緊急対応支援チーム)

中央協議会復興支援のもとに設置された ERST(緊急対応支援チーム)の事務局として、ERT 定例会、教区ワークショップの開催、秋田大雨と能登半島地震の両災害の被災地におけるサポートセンター設置支援などを行った。

6月16日および17日、広島教区本部事務局にて ERST 会議および広島教区災害対応ワークショップを実施した。

11月17日および18日、札幌教区本部事務局にて ERST 会議および札幌教区災害対応ワークショップを実施した。

2024年3月14日および15日、東京教区本部事務局にて ERST 会議および東京教区災害対応ワークショップを実施した。

その他定例会は中央協議会において9月20日・21日、2024年1月17日・18日に実施した。

7月19日に司教総会において、ERT の活動紹介を行った。

7月15日に発災した秋田大雨災害に対応すべく、7月24日から27日まで、ERT 事務局として被災地の現地調査を行った。また、8月29日から31日まで被災地にて活動調整を行った。

1月1日に発災した能登半島地震災害に対応すべく、2024年1月6日から8日まで ERT 事務局として現地調査を実施した。現地では名古屋教区「カリタスのとサポートセンター」設立と支援システムづくりのために、1月12日～16日、1月21日～27日、1月29日～2月7日、2月15日～20日、3月1日～3月3日、3月16日～3月23日に現地で支援活動を行った



能登半島ではカリタスのとサポートセンターを支援



ERTS 定例会

(3) カリタス東京

2022年度より東京教区に「カリタス東京」が設置され、カリタス東京の災害対応に関するプログラム立ち上げ支援を行った。

東京大司教区事務所にて、カリタス東京スタッフとの会合を5月29日、2024年1月15日に実施した。

(4) カリタス南相馬

東日本大震災と福島原発事故後の復興支援のため、一般社団法人カリタス南相馬の法人運営に協力した。

オンラインによる会議のほか、4月26日～28日、6月27日～30日、8月29日～31日、9月13日～16日、10月15日～19日、11月13日～16日、2024年1月29日～2月2日、2月4日～8日、現地にて運営支援を行った。

理事会はオンラインなどで9月15日、12月8日、2024年2月19日、3月8日に開催し、運営支援を行った。

(5) 学校連携・協力

・横浜雙葉高等学校のスタディツア企画のため、9月13日オンライン打合せ、11月14日事前学習会、2024年2月14日準備会・保護者説明会を実施した。

・広島学院高等学校のカンボジアスタディツア一事前学習会をオンラインで実施した。(11月8日)

(6) アジア・シノドス

日本シノドスの集い(3月6日～8日)にシノドス特別チームとして職員を派遣した。

(7)諸団体、NGOとの連携・協力

- ・JOMAS(海外邦人宣教者活動援助後援会)および大阪教区「カンボジア教会の日」から、JLMMカンボジアが実施するステンミエンチャイ地区におけるプロジェクトの資金的な協力を受けた。
- ・施設を共有するNPO法人アルペなんみんセンターと活動面での相互協力を行った。

8. ゴスペル

6月29日、7月6日、8月24日、9月14日、9月28日、10月19日、10月26日、11月16日、11月30日、12月4日、2024年1月11日、1月25日、2月8日、2月29日、3月7日、3月21日に練習を実施した。

9. 海外ボランティア制度

今年度は積極的な募集をしなかったため、希望者がなく実施しなかった。

10. 広報

(1)ミッション(ニュースレター)発行 他

ミッションNo.198～200の計3号を以下のとおり発行した。

No.	発行日	部数	内容
No.198	2023年6月30日	3,000 部	<ul style="list-style-type: none">・2023年度派遣候補者研修開始！・カンボジアスタディツアーリ再開！・平和祈念募金ご協力のお願い
No.199	2023年10月31日	3,000 部	<ul style="list-style-type: none">・2023年度派遣式開催！・カンボジアナイト開催！・インターナショナル・デーに出演しました！・新派遣者のための献金ご協力のお願い
No.200	2023年12月15日	3,000 部	<ul style="list-style-type: none">・派遣地からの第一報！・カンボジアの胡椒で応援！・クリスマス献金ご協力のお願い

(2)広告掲載等

カトリック新聞におおむね月1回、年20回広告を掲載した。

2023年

4月 16日	2段5cm	おうちの整理で国際協力！
4月 23日	2段5cm	おうちの整理で国際協力！
5月 21日	2段5cm	おうちの整理で国際協力！
6月 18日	2段5cm	おうちの整理で国際協力！
7月 16日	2段5cm	おうちの整理で国際協力！
8月 20日	2段5cm	おうちの整理で国際協力！
9月 17日	2段5cm	新たなミッショナリーを応援してください！
9月 24日	3段1／2	新たなミッショナリーを応援してください！(世界難民移住移動者の日)
10月 15日	2段5cm	新たなミッショナリーを応援してください！
11月 19日	3段1／2	新たなミッショナリーを応援してください！
11月 26日	3段1／2	新たなミッショナリーを応援してください！
12月 10日	2段5cm	クリスマス募金にご協力ください！
12月 17日	2段5cm	クリスマス募金にご協力ください！
12月 24日	2段5cm	クリスマス募金にご協力ください！
2024年		
1月 21日	2段5cm	新たなミッショナリーを応援してください！
2月 4日	2段5cm	新たなミッショナリーを応援してください！
2月 18日	2段5cm	新たなミッショナリーを応援してください！
2月 25日	2段5cm	新たなミッショナリーを応援してください！
3月 3日	2段5cm	新たなミッショナリーを応援してください！
3月 17日	2段5cm	新たなミッショナリーを応援してください！

(3)新聞・雑誌記事掲載

特になし。

11. 報告会・説明会・講演

- ・浅草教会にて、JLMM 活動紹介、楯知子の派遣地紹介およびカンボジア物販を行った。(6月 22日)
- ・札幌教区円山教会にて、JLMM 活動紹介およびカンボジア物販を行った。(11月 19日)
- ・神奈川ロータリークラブ2590地区・国際奉仕フォーラムの卓話としてカンボジアのプノンペン市における活動について講演した。(2024年2月 26日)
- ・派遣者の所属する教会での派遣式においても活動紹介を行った。上野教会(7月 16日)、久留米教会(7月 30日)、首里教会(8月 27日)に実施した。

12. 主催イベント

ソンベカフェとのコラボイベント「ソンベ・ナイト！」

鎌倉のソンベカフェにて、JLMM の現在と歴代の派遣国や、関係のある国々の料理を通して、様々な国の文化を学び、交流する企画をシリーズで企画・実施した。

- ・第1回「カンボジア・ナイト！」6月14日 在日カンボジア人カンナ氏のカンボジア料理
- ・第2回「まるごとフィリピンないと！」10月24日 カラカサン共同代表のドナ氏のフィリピン料理
- ・第3回「ベトナム・ナイト！」2024年2月13日 ガー修道女(聖心侍女修道会)のベトナム正月料理



カンボジア料理を紹介するカンナさん



「まるごとフィリピンないと！」参加者

13. バザー・イベント等への参加・企画協力

・ラチャナ・カンボジア胡椒・カンボジアコーヒーの販売

4月19日ライブイベント「ハモタメ」、5月5日鎌倉のアトリエそらのいろマーケット、5月20日逗子フェアトレードイベント、10月15日大阪教区インターナショナルデー、10月22日立川教会バザー(委託)、10月28日鎌倉婦人子供会館バザー、11月5日雪ノ下フェスタ、11月25日All4Oneライブ会場、11月26日および12月3日イグナチオ教会バザー(委託)、2024年2月19日片瀬教会福祉バザーにて実施した。

・鎌人いち場(かまんどいちば)

5月21日(日)に鎌倉・由比ヶ浜海岸公園で開催された「鎌人いち場」に出展。カンボット産胡椒やラチャナ・ハンディクラフトの展示販売を行った。

・ソンベカフェ、97Design Garage における胡椒などの委託販売を継続した。



鎌人いち場で販売する研修生



大阪教区インターナショナルデーに集う派遣者 OBOG

14. その他事業

- ・ラチャナ・ハンディクラフトの事業支援とカンボジア活動地の紹介を行う目的として、ラチャナ・ハンディクラフトの手工芸品を輸入し販売を行った。
- ・カンボジア・カンポットで首都圏に出稼ぎに行かなくても地方での就業を支援する目的として、パラダイスガーデン・カンポット社から胡椒を輸入し販売を行った。

15. ファンドレイジング

- ・Brand Pledge: 支援者が不要になったブランド品を送ることで、その売上がJLMMに寄付金として寄付される。 2024年度 0件
- ・キモチ。: 支援者が不要になった本や CD などをブックオフに送ることで、その売上がJLMMに寄付金として寄付される。 2024年度 8件 55,480 円

16. OB・OG会

今年度は実施されなかった。

17. スタディツアーア

- ・上智福岡高等学校のカンボジアスタディツアーを7月31日から8月8日まで実施した。(高校生12名)
- ・広島学院高等学校のカンボジアスタディツアーを12月23日から31日まで実施した。(高校生12名)
- ・サレジオ学院高等学校のカンボジア・バーチャルスタディツアーを2024年2月19日に実施した。(プロンペン市活動地、サレジオ高校、JLMM事務所の3元中継)
- ・横浜雙葉高等学校のカンボジアスタディツアーを3月26日から4月1日まで実施した。(高校生12名)



横浜雙葉高校カンボジアスタディツアー



サレジオ学院高校のバーチャルスタディツアー

- ・2022年度の広島学院カンボジアスタディツアー参加者との集いを広島学院にて行った。(6月15日)

18. スタッフ研修

- ・実施しなかった。

19. 会議

(1) 総会

開催回	開催日	会場	議題
定時	2023年 6月26日	ニコラ・バレ105 号室	<ul style="list-style-type: none"> ・役員の選任について ・2022年度事業報告(案)及び収支決算(案)について

(2) 理事会

開催回	開催日	会場	議題
第1回	2023年 6月5日	オンライン会議	<ul style="list-style-type: none"> ・各国・国内活動状況について ・2022年度活動報告(案)及び収支決算(案) ・2023年度活動計画(案)並びに収支予算(案) ・2023年度派遣者派遣地について
臨時	2023年 6月28日	ニコラ・バレ 105号室	<ul style="list-style-type: none"> ・代表理事の選定について

第2回	2023年 9月4日	オンライン会議	・各国・国内活動状況について ・2024年度派遣候補者募集について
第3回	2023年 12月4日	オンライン会議	・各国・国内活動状況について ・研修所について
第4回	2024年 3月 4 日	オンライン会議	・各国・国内活動状況について ・総会について ・2024年度計画について

20. 正会員・理事・顧問司教

正会員は次のとおりである。当会の正会員は一般社団法人及び一般財団法人に関する法律に規定されている社員である。

	氏名	備考
1	緒方 真理子	
2	岸野 真理子	
3	眞鍋 まり	
4	大垣 俊朗	
5	漆原 比呂志	
6	辻 明美	
7	金山 重之	
8	小林 誠	
9	渡邊 恵子	
10	松村 繁彦	

役員構成は次のとおりである。

理事の任期は2023年6月26日から2024年度最終総会まで、監事の任期は2023年6月26日から2026年度最終総会までとなる。

顧問司教は山野内倫昭さいたま教区司教である。

	役職	氏名	所属等	備考
1	代表理事	松村 繁彦	カトリック札幌教区事務局長	
2	理事	浜崎 真実	カトリック横須賀三笠教会主任司祭	指導司祭

3	理事	高橋 瞳子	幼きイエス会	
4	理事	佐久間 勤	イエズス会	
5	理事	渡邊 恵子	日本カトリック信徒宣教者会・OG	
6	理事	高橋 真也	日本カトリック信徒宣教者会・OB	
7	理事	漆原 比呂志	JLMM 事務局 / OB	事務局長
1	監事	小林 和夫	日本カトリック信徒宣教者会・OB	
2	監事	徳 芳郎	徳芳郎税理士事務所	

野田典義監事及び品田典子監事による監査を実施した。

2023年5月26日

21. 加盟団体等

2023年3月31日現在、当会が所属する団体等は次のとおりである。

日本カトリック司教協議会 公認団体 (2002年5月9日加盟)

特定非営利活動法人国際協力NGOセンター(JANIC) 正会員 (2009年10月23日承認)

22. その他

- ・徳監事が事務所を訪問した。(10月6日)
- ・事務局職員の健康診断を実施した。(10月12日)

貸借対照表

2024年3月31日現在

一般社団法人JLMM

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	123,645	70,000	53,645
普通預金	2,862,373	5,798,694	△ 2,936,321
定期預金	100,000	100,000	0
未収入金	10,000	0	10,000
棚卸資産	549,262	301,000	248,262
流動資産合計	3,645,280	6,269,694	△ 2,624,414
2. 固定資産			
工具器具備品	156,969	203,187	△ 46,218
固定資産合計	156,969	203,187	△ 46,218
資産合計	3,802,249	6,472,881	△ 2,670,632
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	606,325	0	606,325
未払金	706	25,862	△ 25,156
預り金	451,204	298,197	153,007
流動負債合計	1,058,235	324,059	734,176
2. 固定負債			
国内積立金給付引当金	100,000	0	100,000
固定負債合計	100,000	0	100,000
負債合計	1,158,235	324,059	834,176
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産合計	2,644,014	6,148,822	△ 3,504,808
正味財産合計	2,644,014	6,148,822	△ 3,504,808
負債及び正味財産合計	3,802,249	6,472,881	△ 2,670,632

2023年度正味財産増減計算書
2023年4月1日から2024年3月31日まで

一般社団法人JLMM

(単位：円)

	当年度	前年度	差異	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	776,000	1,033,000	△ 257,000	
受取会費	776,000	1,033,000	△ 257,000	
受取寄付金	12,193,167	16,003,363	△ 3,810,196	
受取寄付金	12,193,167	16,003,363	△ 3,810,196	
受取寄付金振替額	0	0	0	
受取助成金	3,089,950	3,691,946	△ 601,996	
受取助成金	3,089,950	3,691,946	△ 601,996	
受取助成金振替額	0	0	0	
その他の収益	3,451,071	2,635,978	815,093	
雑収益	8,019	23	7,996	
受取利息	9	23	△ 14	
雑収入	8,010	0	8,010	
経常収益計	19,518,207	23,364,310	△ 3,846,103	
(2) 経常費用				
事業費				
給与手当	6,372,420	6,333,600	38,820	
法定福利費	960,006	1,030,650	△ 70,644	
福利厚生費	10,564	18,663	△ 8,099	
会場費	79,750	33,000	46,750	
会議費	0	26,782	△ 26,782	
旅費交通費	724,219	614,194	110,025	
通信運搬費	1,166,118	354,716	811,402	
消耗品費	410,665	220,573	190,092	
国内積立金給付費用	100,000	0	100,000	
印刷製本費	241,645	50,202	191,443	
現地活動費	5,198,199	3,692,446	1,505,753	
賃借料	30,960	7,920	23,040	
保険料	463,620	6,520	457,100	
諸謝金	192,274	22,272	170,002	
支払手数料	47,977	18,451	29,526	
広告費	164,175	160,545	3,630	
期末棚卸高	0	0	0	
委託費	102,700	0	102,700	
仕入高	1,804,244	1,362,613	441,631	
事業費計	18,069,536	13,953,147	4,116,389	

	当年度	前年度	差異	備考
管理費				
給料手当	3,422,850	3,407,520	15,330	
法定福利費	566,901	562,167	4,734	
福利厚生費	5,282	9,369	△ 4,087	
会議費	0	2,041	△ 2,041	
旅費交通費	10,915	4,076	6,839	
通信運搬費	41,249	107,445	△ 66,196	
減価償却費	46,218	53,248	△ 7,030	
消耗品費	21,210	3,746	17,464	
印刷製本費	13,490	0	13,490	
光熱水料費	60,000	60,000	0	
賃借料	0	0	0	
リース料	19,404	162,288	△ 142,884	
委託費	0	0	0	
諸会費	44,125	44,125	0	
租税公課	10,600	64,100	△ 53,500	
施設負担金	600,000	600,000	0	
修繕費	0	0	0	
慶弔費	41,500	4,400	37,100	
支払手数料	49,735	45,745	3,990	
管理費計	4,953,479	5,130,270	△ 176,791	
経常費用計	23,023,015	19,083,417	3,939,598	
当期経常増減額	△ 3,504,808	4,280,893	△ 7,785,701	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産受贈益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 3,504,808	4,280,893	△ 7,785,701	
一般正味財産期首残高	6,148,822	1,867,929	4,280,893	
一般正味財産期末残高	2,644,014	6,148,822	△ 3,504,808	
II 指定正味財産増減の部				
受取寄付金	0	0	0	
受取助成金	0	0	0	
一般正味財産への振替額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	2,644,014	6,148,822	△ 3,504,808	

2023年度正味財産増減計算書内訳
2023年4月1日から2024年3月31日まで

一般社団法人JLMM

(単位:円)

	実施事業等会計						法人会計	内部取引控除	合計
	研修事業	派遣活動事業	調査研究事業	広報事業	行事	その他事業			
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
受取会費	0	0	0	0	0	0	776,000	0	776,000
受取会費							776,000		776,000
受取寄付金	409,108	7,127,121	0	1,000,509	117,372	0	3,539,057	0	12,193,167
受取寄付金	409,108	7,127,121	0	1,000,509	117,372	0	3,539,057		12,193,167
受取寄付金振替額									0
受取助成金	0	3,089,950	0	0	0	0	0	0	3,089,950
受取助成金		3,089,950							3,089,950
受取助成金振替額									0
その他の収益						3,451,071			3,451,071
雑収益	0	0	0	0	0	8,010	9	0	8,019
受取利息							9		9
雑収入						8,010	0		8,010
経常収益計	409,108	10,217,071	0	1,000,509	117,372	3,459,081	4,315,066	0	19,518,207

	実施事業等会計						法人会計	内部取引控除	合計
	研修事業	派遣活動事業	調査研究事業	広報事業	行事	その他事業			
(2) 経常費用									
事業費									
給与手当	0	3,186,210	0	0	0	3,186,210			6,372,420
法定福利費	0	480,003	0	0	0	480,003			960,006
福利厚生費	0	5,282	0	0	0	5,282			10,564
会場費	28,000	20,000	0	0	31,750	0			79,750
会議費	0	0	0	0	0	0			0
旅費交通費	115,830	459,422	0	7,982	59,403	81,582			724,219
通信運搬費	66,536	7,848	0	951,377	5,496	134,861			1,166,118
消耗品費	196,088	46,054	0	50,270	27,632	90,621			410,665
国内積立金給付費用	0	100,000	0	0	0	0			100,000
印刷製本費	0	3,470	0	216,010	0	22,165			241,645
現地活動費	0	5,198,199	0	0	0	0			5,198,199
賃借料	13,720	0	0	9,240	0	8,000			30,960
保険料	0	463,620	0	0	0	0			463,620
諸謝金	152,274	0	0	0	40,000	0			192,274
支払手数料	165	5,445	0	1,320	0	41,047			47,977
広告費	0	0	0	164,175	0	0			164,175
期末棚卸高									0
租税公課						102,700			102,700
仕入高						1,804,244			1,804,244
事業費計	572,613	9,975,553	0	1,400,374	164,281	5,956,715	0	0	18,069,536

	実施事業等会計						法人会計	内部取引控除	合計
	研修事業	派遣活動事業	調査研究事業	広報事業	行事	その他事業			
管理費									
給料手当							3,422,850		3,422,850
法定福利費							566,901		566,901
福利厚生費							5,282		5,282
会議費							0		0
旅費交通費							10,915		10,915
通信運搬費							41,249		41,249
減価償却費							46,218		46,218
消耗品費							21,210		21,210
印刷製本費							13,490		13,490
光熱水料費							60,000		60,000
賃借料							0		0
リース料							19,404		19,404
委託費							0		0
諸会費							44,125		44,125
租税公課							10,600		10,600
施設負担金							600,000		600,000
修繕費							0		0
慶弔費							41,500		41,500
支払手数料							49,735		49,735
管理費計	0	0	0	0	0	0	4,953,479	0	4,953,479
経常費用計	572,613	9,975,553	0	1,400,374	164,281	5,956,715	4,953,479	0	23,023,015
当期経常増減額	△ 163,505	241,518	0	△ 399,865	△ 46,909	△ 2,497,634	△ 638,413	0	△ 3,504,808

2. 経常外増減の部	実施事業等会計						法人会計	内部取引控除	合計
	研修事業	派遣活動事業	調査研究事業	広報事業	行事	その他事業			
(1) 経常外収益									
固定資産受贈益	0	0	0	0	0	0			0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
固定資産除却損									0
経常外費用計	0						0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 163,505	241,518	0	△ 399,865	△ 46,909	△ 2,497,634	△ 638,413	0	△ 3,504,808
一般正味財産期首残高	2,793,447	1,506,477	1,443,713	5,135,632	1,179,782	△ 8,857,768	2,947,539	0	6,148,822
一般正味財産期末残高	2,629,942	1,747,995	1,443,713	4,735,767	1,132,873	△ 11,355,402	2,309,126	0	2,644,014
II 指定正味財産増減の部									
受取寄付金									0
受取助成金									0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高								0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	2,629,942	1,747,995	1,443,713	4,735,767	1,132,873	△ 11,355,402	2,309,126	0	2,644,014

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

車両運搬具、工具器具備品・・・・定額法による減価償却をしている。

2 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期減価償却額	当期末残高
工具器具備品	203,187	0	0	46,218	156,969
合 計	203,187	0	0	46,218	156,969

3 指定正味財産から一般正味財産への振替額は次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
合 計	0

4 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
助成金						
大阪教区カンボジアの日	大阪教区	0	1,568,175	1,568,175	0	一般正味財産
JOMAS	JOMAS	0	1,521,775	1,521,775	0	一般正味財産
合 計		0	3,089,950	3,089,950	0	

附 屬 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産を有していない。

2. 引当金の明細

2023年度より派遣者の帰国時に支給する国内積立金給付のために
国内積立金給付引当金を設置した。

内訳は次の通り

	月数	人数	金額
フィリピン派遣	1	1	20,000
カンボジア派遣	2	2	80,000
計	3	3	100,000

財 産 目 錄

2024年3月31日現在

一般社団法人 J L MM

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現 金		手持現金	123,645
預 金	普通預金		
	三菱UFJ銀行六本木支店	運転資金として	705,651
	三菱UFJ銀行六本木支店	寄付金等受け入れとして	1,725,295
	郵便振替	寄付金等受け入れとして	431,427
	定期預金		
	三菱UFJ銀行六本木支店		100,000
	未収入金		10,000
	棚卸資産		549,262
流動資産合計			3,645,280
(固定資産)			
什器備品	パソコン4台	事務局にて使用	156,969
固定資産合計			156,969
資産合計			3,802,249
(流動負債)			
買掛金			606,325
未払金	雇用保険料		706
預り金	社会保険料ほか		451,204
流動負債合計			1,058,235
(固定負債)			
引当金	国内積立金給付引当金		100,000
固定負債合計			100,000
負債合計			1,158,235
正味財産			2,644,014

監査意見書

一般社団法人 J LMM定款第 27 条の規定に基づき、2023 年度における理事の職務執行状況、事業の執行状況並びに財務の状況について、当該年度の通常理事会議事録、活動報告書及び収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表並びに財産目録、更にはこの内容を証する関係諸帳簿、証拠書類等を精査したところ、いずれも適正に処理されていると認められた。

2024年 5月26日

一般社団法人 J LMM

監 事 (財務)

猪 古 郎

2024年 5月29日

一般社団法人 J LMM

監 事 (事業)

山 本 一